

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 准教授

氏名： 山 添 謙

研究課題		地球温暖化の進展に伴う都市の気候環境変化に関する研究～暑熱夜の出現状況と経年変化
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>地球温暖化は都市生活者が指向している「便利で快適な生活」がその根本の原因にあるといわれている。そして、「便利で快適な生活」を支えるために施される都市形状の変化(土地被覆の改変、建築物の高層化や地下化)や著しいエネルギー消費が、ヒートアイランド現象に代表される都市特有の気候を出現させている。</p> <p>熱中症リスクは、主に気温と相対湿度によって変化する。夏季においては、日中の高温によるリスク増加が大きな懸念となる一方で、夜間についても屋内での熱中症のリスク増加が指摘されている。気温については、ヒートアイランド研究の中で多くの成果が挙げられているが、湿度やその原因となる水蒸気量については十分に解明されているとは言えない。そこで、夏季の夜間に注目し、暑熱夜を定義したうえで、暑熱夜の出現状況について明らかにする。</p>
	研究成果	<p>熱中症のリスクについて、埼玉県熊谷市の救急搬送者データを基にした文献調査を行った。その結果、熱中症の発症状況別に整理してみると、暑熱環境下で運動や業務を行うことによって発症するものと、暑熱環境下で安静時に発症するものに分けられ、後者については、高齢者が夜間に発症する例が少なからずあることが理解された。</p> <p>このことから、都市部で夜間に屋内の暑熱環境が悪化することにより、熱中症発症リスクが高まることが懸念され、本研究の重要性を把握することができた。</p> <p>気象庁の気象データに基づき、具体的な暑熱夜の統計処理は、引き続き継続中であり、まとめ次第、日本地理学会の学術誌に投稿する予定である。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし